

豊田市長 太田 稔彦 様

美里地域会議 提言書



美里地域会議委員

会 長	松村 洋			
副会長	野村 耕一			
委 員	青木 徹	大坪 道助	岡本 渉	北村 猛志
	小林 健一	小林 忠雄	清水 幸男	鈴木 智映子
	豊田 博久	中島 康隆	濱野 敏子	丸石 敏憲
	望月 英光	森口 美代子	山本 由和	吉本 勝

令和 7 年 3 月 2 5 日

美里地区の高齢者福祉に関する提言

1 提言の背景

美里地区は、昭和 40 年代に大規模な区画整理事業が行われ、本市の自動車産業の発展と共に全国から多くの人々が移り住み、発展してきました。しかし、全国的な傾向と同様に高齢化が進み、令和 7 年 2 月 1 日時点の高齢化率（満年齢により算出）は、市内 28 中学校区中 10 番目に高い 27.5%となっています。さらに、当地区の令和 6 年 3 月末時点の要介護認定率は 15.6%で、豊田市全体の認定率である 15.9%より低いものの、人口構成では 70-79 歳が多く、後期高齢者の割合増加に伴い、要介護認定率が今後急増することが懸念されます。

美里地域会議では、令和 4 年度に当地区内の自治区及び各種団体の役員に対し、「美里地区のまちづくりに関する記述式のアンケート」（以下「まちづくりアンケート」という。）を実施しており、その回答を参考に、当地区が抱える課題について協議してきました。その結果、当地区では、「**高齢者福祉**」に関する課題解決を、優先して取り組む必要があるとの結論に至りました。

2 現状と課題

高齢者福祉に関しては、要介護認定を受けている住民に対し、すでに公的な支援制度がある一方で、要支援・要介護認定等を受けていないものの、生活に困りごとのある高齢者（以下「高齢者」という。）に対して、支援が行き届いていないのではないかと考えます。

これまで当会議では、「まちづくりアンケート」を参考に協議を重ねており、運転免許返納後の移動手段や防災対策、地域交流の場の不足などの困りごとを当地区に住む高齢者が抱えているのではないかと推察しています。しかし、検討の参考にした「まちづくりアンケート」は高齢者の困りごとに特化した調査ではないため、その調査結果から、当地区の高齢者が真に困っていることを特定するのは困難な状況です。

3 提言の内容

高齢者が本当に必要とする支援策を地域で実施するためには、高齢者が抱える当地区特有の課題を、私たち地域会議が正しく理解した上で提言する必要があります。高齢者の実態を把握するために、当地区では、以下のとおり地域性を考慮した高齢者福祉に関する調査を実施したいと考えています。市には、高齢者福祉に関する実態調査の専門知識を有するアドバイザーを当地区へ派遣していただくなど、調査の実施を支援していただくようお願いします。

（１）調査チームの立ち上げ

地域会議委員が中心となって、地域住民で構成する調査チームの立ち上げを行います。

（２）調査手法等の検討・実施

専門家の助言を受けながら、調査チームが調査手法や調査項目、調査対象について検討します。多くの高齢者から意見を聞けるように、新たな取組として、集いの場を活用した聞き取り調査、民生委員や高齢者に関わる団体との懇談、郵送やインターネットを利用したアンケートなどの調査を行います。

（３）データの分析と必要な取組の実施

専門家の助言を受けながら結果を分析し、当地区に住む高齢者が抱える課題を特定します。その課題について、緊急性や優先度を評価した上で、市と地域の共働で解決に取り組むことが必要な課題については、改めて当会議から市へ解決策を提言し、住民がいつまでも安心して暮らしていくことができる地域の実現を目指します。